

向日市

おもな記事

- 昭和五十一年度 保育所入所申請 締切
- 老齢年金の現況 届(二ページ)
- 住みよいまちづくり「公共下水道事業」 (三ページ)
- 市・府民税の申告(三ページ)
- くらしのひろば (四ページ)

成人の門出を祝う



謝辞を述べる鈴木大三さん

成人の日の一月十五日、限らない希望を秘める若者たちを市民会館ホールへ迎えて、この日を人生の門出として、ともに祝福しました。

この日、向日市で五百二十人が、おとなの仲間入りをしました。そのうち成人式に参加された方は、二百四十余名でした。会場では、晴れ着姿の若者が次つぎと訪れ、活気にみまぎっていました。式は午前十時三十分から、成人を祝って市社会福祉協議会長、渡辺利一郎氏のあいさつで始まり、続いて民秋市長、

い視野をもって、試験を乗り越え価値ある人生を歩んで下さい」と激励しました。

引き続き、市社会福祉協議会長から成人を代表して民秋喜代子さん(上植野町西小路)に記念品の贈呈、謝辞を鈴木大三さん(向日町北山)が述べました。また講演では、「新時代に生きる若者」と題し、嶋田啓一郎氏(同大教授・市社会教育委員)により、新しい人生の門出を祝いました。



はたちのこころ

本日より私たちは、幸せにも社会を構成する一員として、新たに出発する日を迎えることができました。私たちはこれからすべての行動、発言に対し、積極的かつ真剣に取り組みたいと思います。

私たちはこう思います。今の「おとな」の世界は、自己本位で自分の利害ばかりにとらわれ、義務を忘れていないではないでしょうか。権利ばかりを要求し、安易な道を求める風潮があるように受けとめられます。そのような「おとな」がどうして子どもを立派に教育していくことができるでしょうか。また、おとなだけでなく若者の間でも無気力、無責任で、エネルギーを善用していない者が多くいます。

人間は他の動物と違って、共同生活、社会生活を営んでいます。社会生活をしているということ、一人では生きて行けないということ、お互いに助け合って生きていくことが、社会生活です。そのために私たちは他と順応し、和合し、調和する能力をみがかなければなりません。自己本位の物の考え方、見方、行動を捨てる努力もしなければなりません。

私たちはすべてのものに感謝を忘れず、自利、利他の立場で物事を考えるよう努力しなければなりません。若さという利点をフルに生かし、自己の向上と社会の改善という方向に、精進努力していく心構えです。

先輩諸氏のおよきご指導をお願いいたします。(鈴木大三さんの謝辞から抜粋)

春の火災予防運動 2月29日～3月13日

慎重の上にも 慎重を

「失敗は成功のもと」といわれていますが、こと火災に関しては失敗は許されません。奥さんは火の取り扱いのベテラン。です……「弘法筆をあやまる」ということのないよう火気の取り扱いは慎重の上にも慎重に……



火事・救急は119番、お問い合わせは922-8000番へ

向日市消防本部